

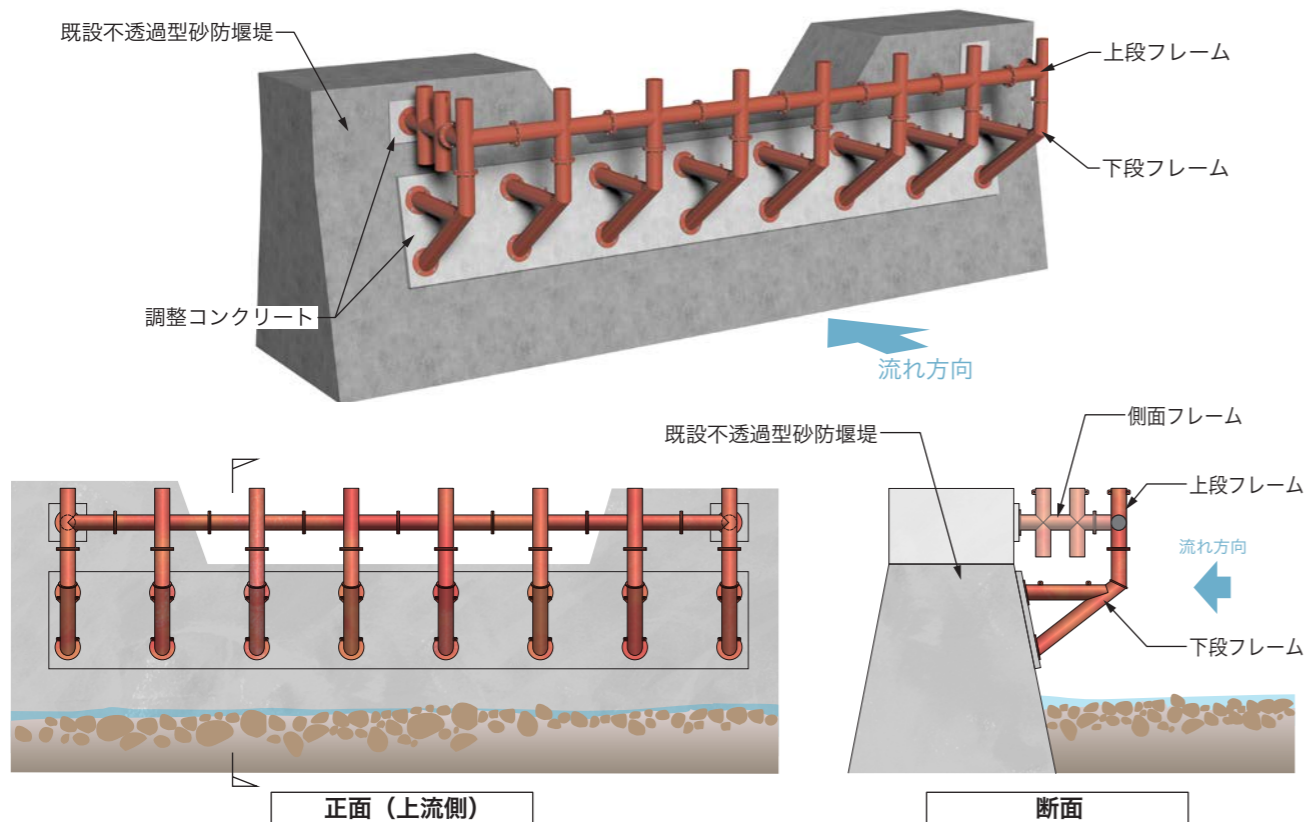
# J-HDスリット



これまで全国各地に多くの不透過型砂防堰堤が設置されてきましたが、流木は水に浮くため不透過型砂防堰堤単独では大きな流木捕捉効果を得られず、越流した流木により下流側に大きな被害をもたらします。そこで、既設不透過型砂防堰堤に鋼製流木捕捉工を後付けで設置し、流木捕捉機能を高めることを目的に開発したのが「J-HDスリット」です。

## 構造・各部名称

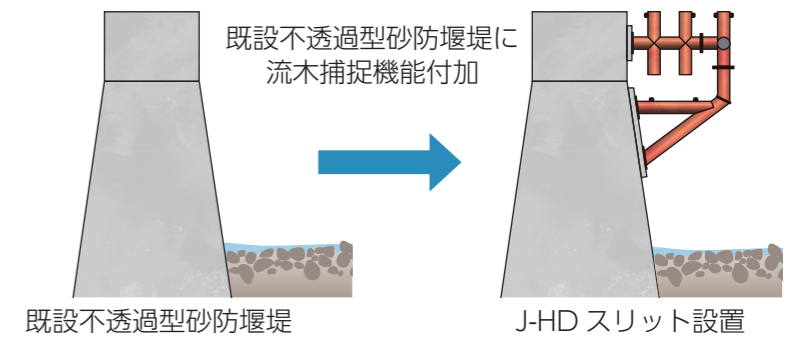
既設不透過型砂防堰堤の長寿命化対策と流木捕捉機能を組み合わせることにより、効果的・効率的に既設不透過型砂防堰堤の改築が可能となります。



## 特長

### 既設不透過型砂防堰堤に流木捕捉機能を付加

既設不透過型砂防堰堤の水通し機能を損なうことなく流木捕捉機能を付加することができます。石積み堰堤への適用に関しては別途お問い合わせください。

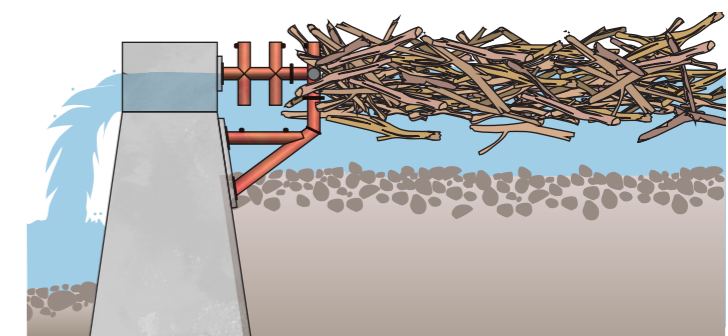


### 優れた流木捕捉機能

鋼管を組み合わせた透過構造により流木を確実に捕捉します。水理実験や実際の捕捉事例により捕捉性能の高さが実証されています。



捕捉事例 (長野県)



流木捕捉イメージ

### 優れた施工性

J-HD スリットは既設不透過型砂防堰堤の上流側にあと施工アンカーで取り付けるため、既設不透過型砂防堰堤に極力手を加えずに施工が可能です。



## 公的認証・仕様

建設技術審査証明書取得



(財) 砂防・地すべり技術センター

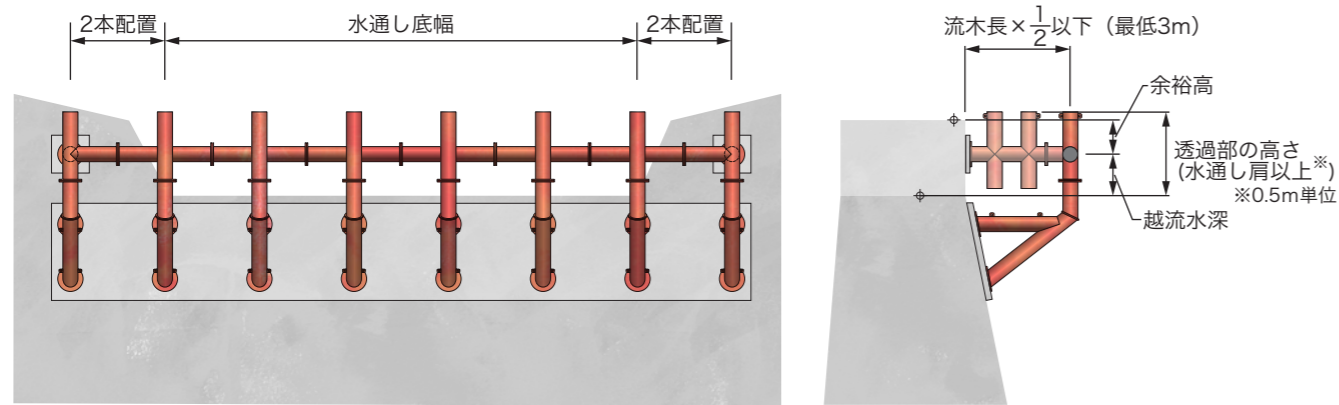
使用鋼材規格一覧

部位	部材	規格	
透過部	フレーム ビーム	鋼管	JIS G 3444 「一般構造用炭素鋼鋼管」(STK400,490)
			JIS G 3101 「一般構造用圧延鋼材」(SS400)
			JIS G 3106 「溶接構造用圧延鋼材」(SM400,490)
接合部 柱脚部	プレート ボルト類	JIS G 3101 「一般構造用圧延鋼材」(SS400)	
		JIS G 3106 「溶接構造用圧延鋼材」(SM400,490)	
		JIS G 3112 「鉄筋コンクリート用棒鋼」(SD345)	
		JSS II 09 「構造用トルシア形高力ボルト・六角ナット・平座金のセット」(S10T、F10、F35)	
		JIS B 1181 「六角ナット」、JIS B 1256 「平座金」	

選定・設計

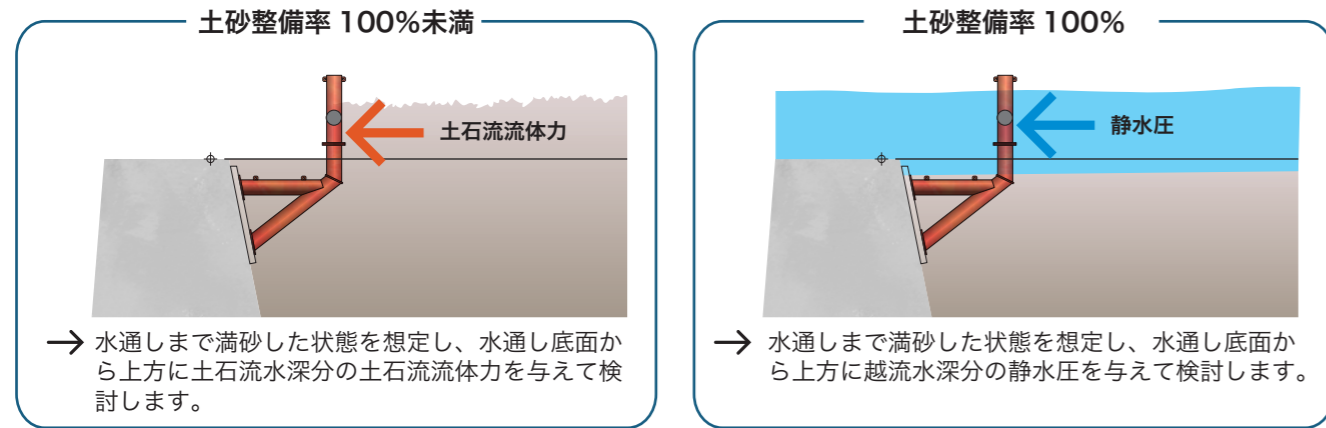
部材配置

「張出しタイプ流木捕捉工設計の手引き（財）：砂防地すべり技術センター 発行」に基づき、部材配置を決定します。  
 ただし、既設不透過型砂防堰堤から J-HD スリット 捕捉面までは水通し機能を損なわないよう、最低でも 3mは離して設置します。



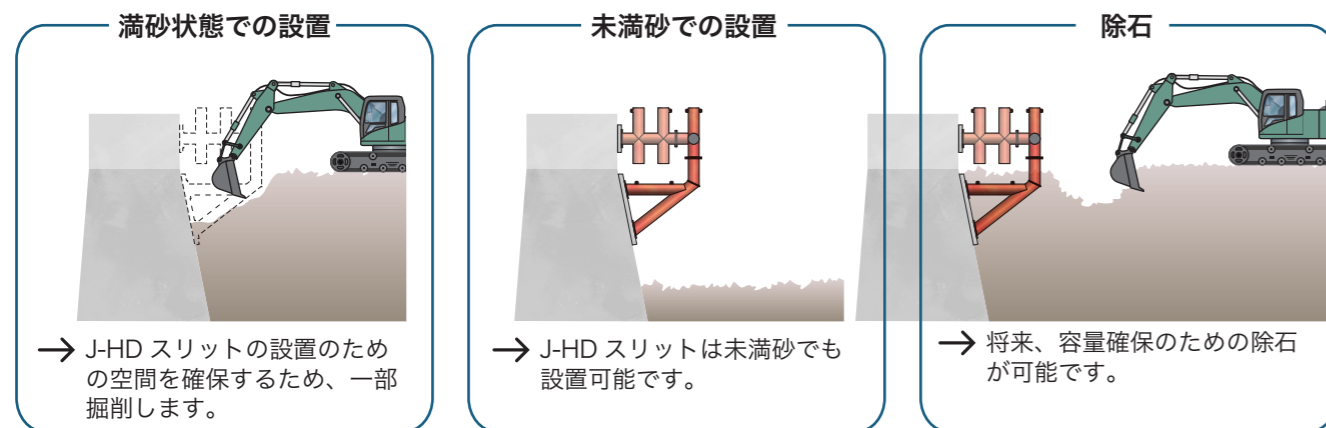
構造計算 (土石流区間)

土石流区間での構造計算に用いる荷重は、既設不透過型砂防堰堤の土砂整備率によって異なります。

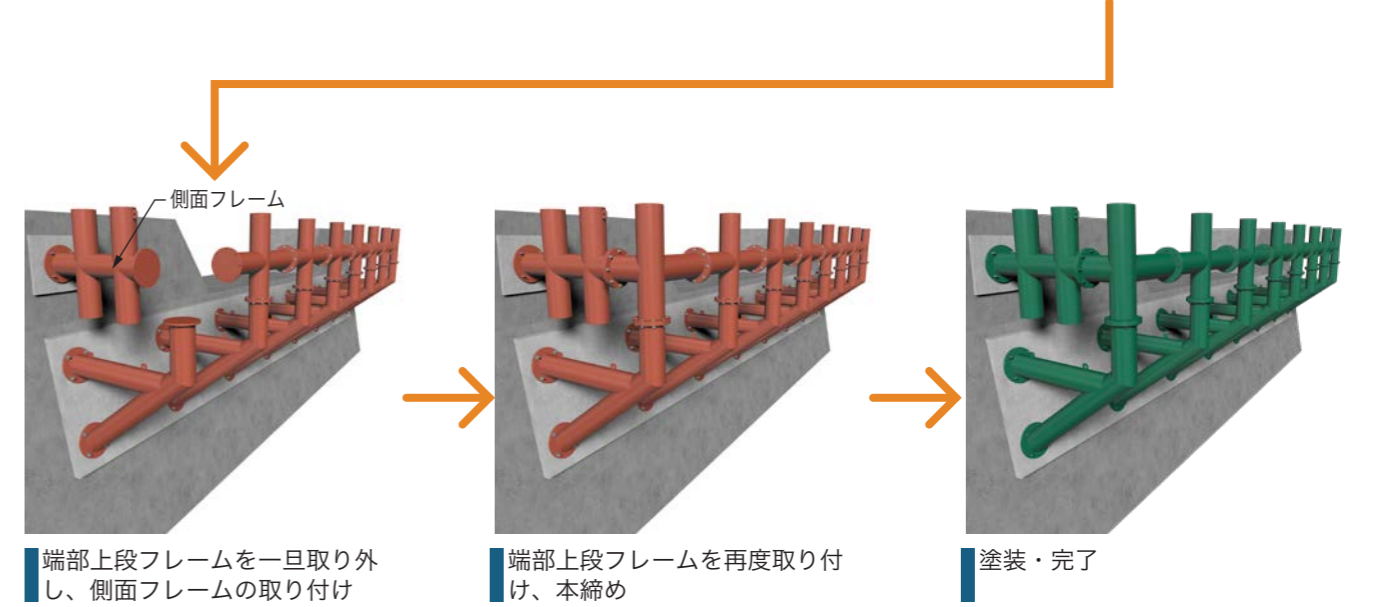
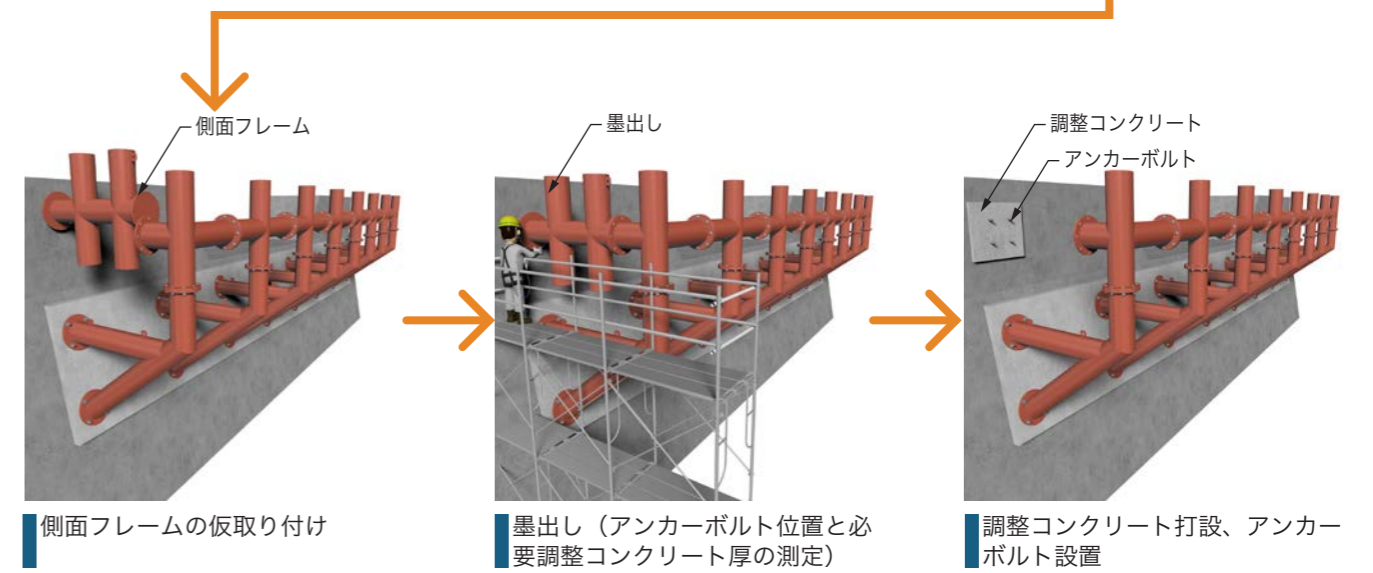
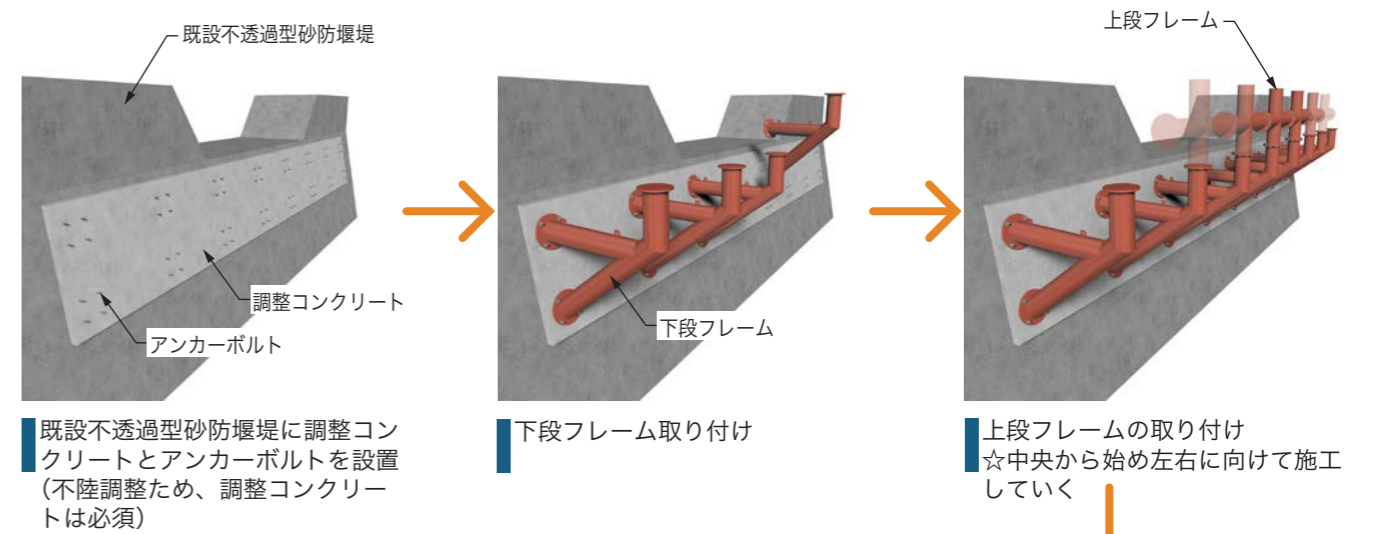


適用範囲

J-HD スリットは、土石流区間および掃流区間に設置されている既設不透過形砂防堰堤に設置するものです。既設不透過形砂防堰堤が未満砂、満砂のどちらの状態でも設置可能です。また J-HD スリット 設置後に堰堤の容量確保のための除石が可能です。



施工手順



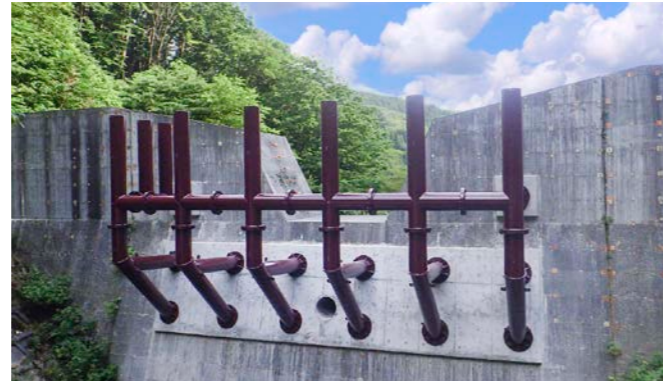
施工実績・効果事例



■ 施工場所	群馬県
■ 有効高	4.0m
■ 水通幅	12.0m



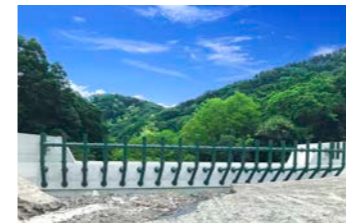
■ 施工場所	長野県
■ 有効高	6.0m
■ 水通幅	26.0m



■ 施工場所	長崎県
■ 有効高	2.5m
■ 水通幅	7.0m



■ 施工場所	青森県
■ 有効高	3.0m
■ 水通幅	3.0m



■ 施工場所	山梨県
■ 有効高	3.0m
■ 水通幅	30.0m



■ 施工場所	大分県
■ 有効高	3.0m
■ 水通幅	7.0m



■ 施工場所	静岡県
■ 有効高	1.5m
■ 水通幅	4.0m



■ 施工場所	山形県
■ 有効高	3.0m
■ 水通幅	40.0m



■ 施工場所	和歌山県
■ 有効高	2.5m
■ 水通幅	3.0m



■ 施工場所	福岡県
■ 有効高	3.5m
■ 水通幅	15.0m